

# ISDN二重ジャンパ確認用ペグ (INS64Wペグ)

## 製品特徴

LEDによる可視確認でわかりやすい

二重ジャンパ施工後、新側40号ARRで新旧LEDが光ります！

この製品はINS64回線をA/I-RTからRSBMへの巻き取りを始め、SBM統合等での収容替えの際に行う二重ジャンパ施工時の極性をLEDで確認するペグです。

※ 二重ジャンパ施工前に40号ARRの弾器部に挿入しておくことも可能です

本来現用L1-L2間は技術標準において1MΩ以上の抵抗が必要と規定されていますので、L1-L2間にLEDを入れることはできません。そこで現用からはベース電流だけを取り出し、LED点灯には新側交換機の電池を使って実現しています。

従って、INS64Wペグ挿入状態での既設の加入者試験でも問題はありません。

※このペグは40号ARRに挿入すると弾器部で断線となります

※新側のLEDが緑色にならないと旧側のLEDは一切点灯しません

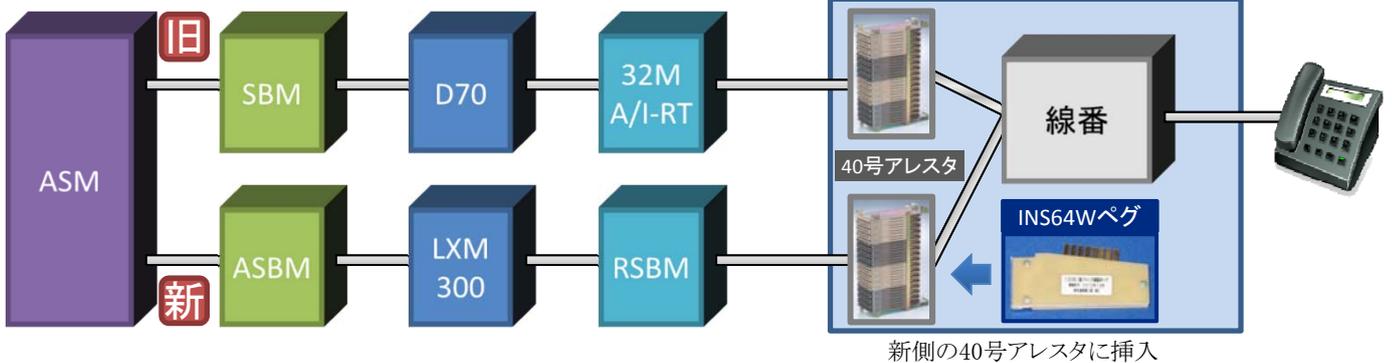
※通話中、通信中は試験できません



INS64Wペグ

## 構成例

例1 (A/I-RTからRSBMへの巻き取り)



例2 (SBM統合)



## 使用方法

- ①新側の40号ARRにINS64Wペグを挿入します
- ②新旧LEDが点灯していないことを確認  
(大量加入者データが入っていないため、通常電池は出ていません)
- ③SCTコマンドを投入し、電池を出して新側LEDを点灯させます  
(新側交換機の極性がNORは●色、REVは●色が点灯します)
- ④INS64Wペグの新側LEDが●である場合は、旧側LEDが点灯しないので●に変更するために、ALT君等を使用してDSUをつなげてALTコマンドで極性を反転させます  
(DSUなしでのALTコマンドは、反転完了しません)
- ⑤ INS64Wペグの新側LEDが●になれば準備OKです
- ⑥旧側から二重ジャンパを施工します
- ⑦INS64Wペグの旧側LEDが順次点灯します
- ⑧旧側LEDがすべて横一列に同色(●または●)になれば二重ジャンパの極性は問題ありません  
(交換機の極性がNOR時は旧側:●、新側:●点灯で正常、極性が反転時は旧側:●、新側:●で正常です)
- ⑨一部LEDが同色にならない場合、ジャンパがテレコ(REV)あるいはレイヤ1停止状態でも発生しますので確認して下さい
- ⑩最後に收容位置のズレを確認するために旧側から收容位置指定でSCTコマンドを投入し、LED反転を目視で確認して下さい
- ⑪これでジャンパは正常であることが確認できます

